
パレット

床

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パレット

【Nコード】

N7523J

【作者名】

床

【あらすじ】

掌編。昔書いた作品のリメイク。

狭い入り口から狭い部屋へ戻ると、あたしはまず、水を飲む。
冬なんて空気が乾燥しているから、何をするにも喉が渴いて仕方がない。

外から帰って来た時なんて、口の中がざらざらするみたいなの、永遠に紙を噛んでいるみたいなの、いやな感覚しかなくなってしまふ。
雨は嫌いなんだけど、水ってやっぱり必要なんじゃないのかしらん。
命っていうのはやっぱり水で出来ていて、ふわふわと揺蕩うままに、ぼんやりと続いて行く。

あら、それじゃあ命って、水に浮いているものなんじゃないのかしらん。

どっちでもいいか。

一人に一つ、持てるものがあるだけでいいんじゃないだろうか。
そうやって考えると、仕事がどうか上司がうざいとか、そんなのは不幸の内に入らないわけなんだ。

命一つ持っていれば、なんもどうもなるわけだ。

かといって命がないのが不幸かっていったら、イスとか冷蔵庫とか、みんな不幸な内に入ってしまうんじゃないだろうか。

そういう小難しいことは、あたしが考えることじゃないんだ。

部屋の隅に置かれたキャンパスには布が掛かっていて、もう随分長いこと放置されている。

そしてこの埃を被った布の裏には、描きかけの油絵がある。

たまに見たくもなるのだけど、あたしには、この布を外すことが出来ない。

近寄ると油絵の具の匂いがして、なんだか切なくもなるのだ。

命があれば幸せとはいっても、一人の部屋はやっぱり寂しい。
ワンルームのアパートは程よく散らかっていて、なんだか安心するけれど。

特に冬なんかは、寒いし空気は冷たいし、無意味にその辺を引っ掻き回してしまいたくなる。

のんびんだらりと過ごす方が好きだけど、動いていれば少しは暖かい。

覗き込んだダンスの上には、靴の箱だとか、カバンだとか、衣装ケースなんかが雑多に置いてある。

一番隅の、埃を被った油絵の具も、何故あるのだからクレヨンも、大きな画用紙も、今は使われないままここに放置されている。

あたしはそれを全部ダンスの上から払い落として、床の上にぶちまけた。

使いかけの絵の具とクレヨンが飛び散って、ばらばらになる。

衣装ケースは壁に当たって横倒しになり、靴の箱からはきらきらしたミュールが飛び出した。

いい感じに散乱したと、あたしはほくそ笑む。

ただ一つ、画用紙だけはひらひらと宙を舞い、ゆっくりと衣装ケースの下に滑り込んでしまったのだけど。

落ちた拍子に開いたクレヨンの箱から、十二色の虹が零れ出す。

あたしはその中から赤を取って、めっちゃくちゃに床へこすりつけた。

いつまでも捨てられずに取ってあったものが、真っ赤に染まって行く。

使いかけの絵の具の箱も、プラスチックの衣装ケースも、きらきらしたミュールも、みんな、赤くなって行く。汚れたパレットも、細

い絵筆も、よれた大きなカバンも、みんな。

クレヨンが半分まで減ったところで、扉が開く音がした。それと殆ど同時に、女の悲鳴が聞こえる。

慌てて駆け寄ってきた彼女は、部屋の惨状を見て、大きく肩を落とした。

そしてふと部屋の隅に置かれていたキャンパスに視線を移し、あたしを見下ろす。

それから落ちていた絵の具のチューブを拾い上げ、寂しそうに笑った。

「何してんの、もう」

それは自分に対して言った言葉だったのかも知れない。

冷えて赤くなった指先が、大事そうに絵の具を箱に戻す。

それから彼女はあたしの体を抱え上げ、バスルームへ向かった。

あたしは抵抗したけれど、彼女は放してはくれない。

バスルームの鏡には、今にも泣き出しそうな笑顔の女と、真っ赤な猫が映っていた。

彼女にはきれいなスーツよりも、油絵の具の匂いが似合う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7523j/>

パレット

2010年11月17日10時52分発行